

別表 J-3 共同利用施設，観測機器，装置等一覧表（平成 28 年度）
（観測施設）

共同利用コード及び名称	担当教員(○責任者)	利用条件等	申請期限
2016-F1-01 筑波地震観測所 油壺地殻変動観測所 鋸山地殻変動観測所 和歌山地震観測所 広島地震観測所 弥彦地殻変動観測所 堂平地震観測所 信越地震観測所 富士川地殻変動観測所 室戸地殻変動観測所 本所周辺観測施設・観測設備	○観測開発基盤センタ ー長	事前に担当教員と打ち合わせること．	随時
2016-F1-02 八ヶ岳地球電磁気観測所	○小河勉	事前に担当教員と打ち合わせること．	随時
2016-F1-03 浅間火山観測所 小諸地震火山観測所 伊豆大島火山観測所 霧島火山観測所	○観測開発基盤センタ ー長	事前に担当教員と打ち合わせること．	随時

（野外観測機器等）

共同利用コード及び名称	担当教員(○責任者)	利用条件等	申請期限
2016-F2-01 衛星通信等を用いた全国地震 観測システムデータ受信専用 装置	○酒井慎一	設置，設定，維持は利用者で行うことが条件であるが，事前に担当教員と打ち合わせること．別途，データ受信に関する利用申請が必要．	随時
2016-F2-02 移動用地震観測機器 （ 衛星・地上テレメータ装置 ， 地震計 ， データロガー ）	○酒井慎一，岩崎貴哉	担当教員とよく連絡をとること．特定共同研究で使用中は利用できないことがある．	随時
2016-F2-03 GPS 観測資材 2 7 式	○加藤照之	事前に担当教員と打ち合わせること．特定共同研究で使用期間中は，利用を遠慮してもらうことがある．	随時
2016-F2-04 高精度広帯域 MT 観測装置	○上嶋誠	事前に担当教員と打ち合わせること．共同観測等で使用中の期間を除く．論文，報告書等に利用した旨を明記すること．	随時
2016-F2-05 長基線電位差測定装置	○上嶋誠	事前に担当教員と打ち合わせること．共同観測等で使用中の期間を除く．論文，報告書等に利用した旨を明記すること．	随時
2016-F2-06 海底地殻熱流量測定装置一式	○山野誠	同種の装置の使用経験者または共同研究に限る．	随時
2016-F2-07 可搬型広帯域地震観測システム(1)	○川勝均	取得したデータは，観測終了後一定期間（2ー3 年）の後，地震研究所・海半球観測センター・データセンタから公開することとする． 事前に担当教員と打ち合わせること．	随時
2016-F2-08 可搬型広帯域地震観測システム(2)	○森田裕一	事前に担当教員と打ち合わせること．	随時
2016-F2-09 絶対重力計	○大久保修平	事前に担当教員と打ち合わせること．	随時

(別表 J-3 のつづき)

共同利用コード及び名称	担当教員(○責任者)	利用条件等	申請期限
2016-F2-10 ラコステ重力計および重力解析ソフトウェア	○大久保修平	貸出しの際、必要に応じて講習を受けること。	随時
2016-F2-11 可搬型強震観測システム	○額額一起	事前に担当教員と打ち合わせること。論文、報告書等に利用した旨を明記すること。論文、報告書等を送付すること。	随時
2016-F2-12 火山ガス観測システム	○森田裕一	事前に担当教員と打ち合わせること。	随時
2016-F2-13 超長周期電磁場測定装置	○上嶋誠, 清水久芳	事前に担当教員と打ち合わせること。共同観測等で使用中の期間を除く。論文、報告書等に利用した旨を明記すること。	随時
2016-F2-14 高精度方位決定ジャイロ装置	○上嶋誠, 清水久芳	事前に担当教員と打ち合わせること。論文、報告書等に利用した旨を明記すること。	随時
2016-F2-15 深海用 3D 流向流速計測システム	○塩原肇	事前に担当教員と打ち合わせること。	随時
2016-F2-16 高精度広帯域電場観測装置	○上嶋誠	事前に担当教員と打ち合わせること。論文、報告書等に利用した旨を明記すること。	随時
2016-M-01 特定機器・レナーツ地震計 (1 Hz)	○観測開発基盤センター	2 ヶ月未満の貸出のみ。2 ヶ月以上の長期貸出を希望する場合には、毎年 6 月頃に行われる公募に申請すること。	随時
2016-M-02 特定機器・広帯域地震計	○観測開発基盤センター	2 ヶ月未満の貸出のみ。2 ヶ月以上の長期貸出を希望する場合には、毎年 6 月頃に行われる公募に申請すること。	随時
2016-M-03 特定機器・低消費電力型データロガー	○観測開発基盤センター	2 ヶ月未満の貸出のみ。2 ヶ月以上の長期貸出を希望する場合には、毎年 6 月頃に行われる公募に申請すること。	随時
2016-M-04 特定機器・Centaur データロガー	○観測開発基盤センター	2 ヶ月未満の貸出のみ。2 ヶ月以上の長期貸出を希望する場合には、毎年 6 月頃に行われる公募に申請すること。	随時

(室内実験計測装置等)

共同利用コード及び名称	担当教員(○責任者)	利用条件等	申請期限
2016-F3-01 制御震源装置一式	○佐藤比呂志, 石山達也	機器の取り扱いに習熟していること。事前に担当教員と打ち合わせが必要。	随時
2016-F3-02 地震火山情報センター計算機システム	○地震火山情報センター長	学術研究と認められないもの、本所設置目的から著しく外れているものは利用できない。詳細は本センター利用規定による。共同利用経費を必要としない場合は、直接本センターに利用申請する。	随時
2016-F3-03 岩石破壊実験装置一式 荷重及び変位信号 AD 変換・処理装置	○吉田真吾, 中谷正生	事前に担当教員と打ち合わせが必要。	随時
2016-F3-04 電子線マイクロプローブ	○安田敦	機器の取り扱いに習熟していること。事前に担当教員と打ち合わせが必要。	随時
2016-F3-05 蛍光 X 線分析装置	○中田節也, 安田敦	事前の講習会を受講していること(年 2 回開催予定)。実験用消耗品については各自用意すること。	

(別表 J-3 のつづき)

共同利用コード及び名称	担当教員(○責任者)	利用条件等	申請期限
2016-F3-06 地震計測定震動台	○新谷昌人	使用説明と日程等の調整のため事前に担当教員に連絡すること。装置は自己運転を原則とする。	随時
2016-F3-07 レーザー発振装置	○新谷昌人	事前に担当教員と打ち合わせが必要。	随時
2016-F3-08 全国地震データ等利用システム装置	○地震火山情報センター長	全国の地震波形データ等を整備し提供する装置。地震観測を実施している全国の大学に設置され共同で運用されている。担当教員との相談による。	随時
2016-F3-09 カールフィッシャー水分計	○中田節也，三部賢治	機器の取り扱いに習熟していること。事前に担当教員との打合せが必要。実験消耗品については各自用意すること。	随時
2016-F3-10 湿式レーザー粒度分析計 (室内実験計測装置)	○中田節也，前野深	使用説明と日程等の調整のために事前に担当教員との打合せが必要。	随時

別表 J-4 データ及び資料一覧表（平成28年度）

地震研究所の「[公開データベース](#)」もご参照下さい。

共同利用コード及び名称	担当教員(○責任者)	利用条件等	申請期限
2016-D-01 WWSSN 地震記象マイクロフィルム/フィッシュ	○古地震・古津波記録委員会（佐竹健治）	要予約．用紙等については予約時に問い合わせる。	随時
2016-D-02 歴史地震記象	○古地震・古津波記録委員会（佐竹健治）	原則としてマイクロフィルムを利用．原記録は職員立ち合いのもとで利用すること．	随時
2016-D-03 旧測候所報告 ・古新聞切抜き・ 国際地震観測報告 等	○古地震・古津波記録委員会（佐竹健治）	資料室でコピー可．	随時
2016-D-04 観測開発基盤センター地震データ	○観測開発基盤センター長	大学間の取り決めに基いて利用すること．詳しくは担当教員に問い合わせること．	随時
2016-D-05 衛星通信等を用いた全国地震観測システムデータ受信利用	○観測開発基盤センター長	「衛星通信地震観測システムデータ受信利用規定」に基いて申請すること．（様式 S-1）	随時
2016-D-06 国立大学微小地震観測網カタログ(JUNEC)	○地震火山情報センター長	震源データは anonymous FTP で利用可．検測データは大学間の取り決めに基いて CD にて提供可．（ただし，担当教員に利用申請を提出のこと）．論文・報告書等には利用した旨を明記すること．	随時
2016-D-07 浅間，伊豆大島，霧島，富士の火山データ	○火山噴火予知研究センター長	事前に担当教員と打ち合わせること．	随時
2016-D-08 広帯域地震波形データ(1)	○海半球観測研究センター長	特になし．	随時
2016-D-09 広帯域地震波形データ(2)	○鷹野澄	筑波，白木等の広帯域地震計のための ERIOS システムで収録された広帯域地震波形データ．観測点ごとに収録期間が異なるので，利用希望の際は，事前に担当者に相談すること．データフォーマットは ERIOS フォーマット．	随時
2016-D-10 新 J-array 地震波形データ	○地震火山情報センター長	ホームページから利用可．論文・報告書等には利用した旨を明記すること．	随時
2016-D-11 1993年日光周辺域合同地震観測データ	○観測開発基盤センター長	1993 年合同観測参加者．	随時
2016-D-12 強震記録 （主として駿河湾，伊豆半島観測網，足柄観測網のデータ）	○額部一樹	論文，報告書等に利用した旨を明記すること． 論文，報告書等を送付すること．	随時
2016-D-13 歴史地震の古文書及びその解説文	○佐竹健治	特になし． 「東京大学地震研究所図書室特別資料データベース (http://www.eic.eri.u-tokyo.ac.jp/dl/meta_pub/G0000002erilib)」のうち，コレクション名 02 (-1, 2, 3) の地震史料のオリジナル（複写）と解説文	随時
2016-D-14 地球電磁気データベース	○上嶋誠，歌田久司	事前に担当教員と打ち合わせること．論文，報告書等に利用した旨を明記すること．	随時

共同利用コード及び名称	担当教員(○責任者)	利用条件等	申請期限
2016-D-16 地殻熱流量データセット	○山野誠	特になし.	随時
2016-D-17 日本全国空中写真	○図書室	活断層調査や地震・火山・テクトニクスなどの研究のためであること. 図書職員に申し出て利用すること.	随時
2016-D-18 津波波形画像データ	○古地震・古津波記録委員会 (佐竹健治)	地震研の公開データベースの津波波形画像検索システムより申請して利用すること. 利用資格は地震研究所共同利用に準ずる.	随時
2016-D-19 首都直下地震防災・減災特別プロジェクトデータ	○平田直, 酒井慎一	事前に担当教員と打ち合わせること.	随時
2016-D-20 超伝導重力計観測データ	○今西祐一	事前に担当教員と打ち合わせること. 論文, 報告書等に利用した旨を明記すること.	随時
2016-D-21 都市の脆弱性が引き起こす激甚災害の軽減化プロジェクトデータ	○平田直, 酒井慎一	事前に担当教員と打ち合わせること.	随時